

普及現地情報



発信年月日:令和8年(2026年)1月20日
所属名:大津・南部農産普及課
番号:A25013
発信者名:惣司・木村

野州市大篠原で集落環境点検を実施

11月21日に開催された篠原学区獣害対策協議会にて、今後10年で大篠原地先の向山を侵入防止柵で囲う計画案が出されました。柵の設置に先立って、被害状況確認と対策検討のために現地確認の必要があるため、12月18日に大篠原農業組合と篠原学区自治会と合同で集落環境点検を実施しました。

大篠原成橋地区は向山の周辺に民家と農地が広がる集落であり、近年、向山周辺でイノシシによる農業被害が発生しています。また、近くに光善寺川が通っており、イノシシが河川敷を移動して他集落にも出没するようになってきました。

集落環境点検では14人が集まり、当課から事前に採取したフンの内容物から、集落内の水稲のひこばえを頻繁に食べに来ていることを確認していただきました。その後、向山周辺の点検を徒歩で行いました。

点検の結果、いたる所にイノシシの足跡や掘り起こし跡が見られ、住宅裏にヌタ場があることも確認できました。一部のほ場では電気柵や侵入防止柵の適切な設置と管理が行われており、管理方法について集落の方同士の意見交換の場も設けました。

被害ほ場が多数あったことから、どこを重点的に守りたいかといった優先順位を考えてもらいながら柵の設置位置を検討していただくことになりました。

当課は、今後も柵の設置方法の助言と被害防止への協力を行う予定です。



現地での説明



フンの内容物